

平成29年第11回通常総会

3月11日(日)、平成29年度第11回通常総会が安井区公民館で開催されました。会員様の絶大なるご理解とご協力で、平成29年度も黒字決算となり、大変喜んでおります。ありがとうございました。しかし、内容は、会員様にこれだけ、絶大なるボランティア精神で出役していただいても、営業利益は赤字となっており、営業外収益すなわち補助金で黒字となっている状態でございます。平成30年度においても、TPPが大筋合意したことで米の輸入量の増加、需要の減少が見込まれ、国による生産調整の数量も廃止され、米価の下落が予想される中、追い打ちをかけるように、米の直接交付金は平成30年度から廃止となっております。このような厳しい状況下でほたるの里は、いかに経営していくか。平成30年度の計画では、行政、JAの指導を基に、黒大豆、小豆、酒米の増加を計画しております。酒米はともかく、黒大豆、小豆を増加することで、手作業が多く、昨年度に比較して、出役も多くお世話にならなければいけないと思っております。

又、女性部では、加工に取り組んでいただき、これまでの黒大豆味噌、黒大豆もろみの他、加工部を立ち上げ、弁当、菓子類、ロケ弁、地元のお弁当、法事の仕出し弁当等頑張ってくださいました。平成30年度には、京丹波町高齢者生活支援事業に加盟する予定です。ほたるの里の心のこもったお弁当を提供することで、地域の高齢者等の方に健康と福祉の増進に多少なりともお役に立ちたいとの思いで努力していきます。

平成30年度計画は農業部門、加工部門とも、盛り沢山の作業を計画しております。役員一同、必死で努力いたします。会員の皆様、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

普通トラックを納車しました

ほたるの里での農機具はほぼ揃えました。しかし、運搬車両に関しては、個人の軽トラを常に提供していただいております。この状態が当たり前だと勘違いをしていることがありますが、提供している会員様には、改めて感謝を申し上げます。運搬用車両は、農機具の中で一番働いていないのではないかと思います。田植え、刈取はもちろん、一年を通してずっと必要な農機具です。時には、軽トラでは効率の悪いこともあり、普通トラックが必要な時もあります。これまで松本昭二さんのトラックを借用させていただいていました。今年から昭二さんが運転免許を返納され、普通トラックに乗られなくなりました。ほたるの里では、これまで普通トラックが必要と感じていたのですが、経費が高かつき、昭二さんに助けていただいております。長年、昭二さんにはお世話になりありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

昭二さんのトラックをいただきました。名義変更し、3月10日(大安)に納車しました。

しかし、普通トラックを納入しても、これだけでは、運営していけません。今後も個人様の軽トラを提供していただくこととなりますがよろしくお願い申し上げます。

畦付け機を更改しました

オペレータが気を遣う仕事の一つは、畦付け作業ではないかと思います。水が洩らなくなったらいいというだけではない。見場が肝心なのである。まして受託作業となると、細心の注意を払って神経を使う。これまでのほたるの里の畦付け機は、ほたるの里立ち上げ当初の製品で、今の機械に比較して、性能が良くない、いくらオペレータが上手でも、うまくつかない、そのようなことから今回、更改に踏み切りました。3月15日、納入し、行政の検査を受けました。今年から、快適に畦付けが可能になりました。

美しいふるさとをみんなの力で守っていきましょう！